

区分32	専門分野 血液学的検査	授業科目名	血液検査学実習	単位数	2単位 (60時間)
開講時期	2年 前期	担当教員	井田 博之	担当教員の 実務経験	有・無
◆実務経験の内容 国立病院機構病院に入職して(長崎医療センター→嬉野医療センター→九州医療センター→長崎川棚医療センター→福岡東医療センター→熊本医療センター)38年間の勤務経験の中で主に血液検査に従事した。認定血液検査技師として血液内科医師との骨髓像カンファレンスなどにも参加して、血液疾患患者の診断・治療に関与した。主任技師の立場では臨地実習生の指導を行い、技師長の立場では実習生の面談(就職相談)を行った。					
◆授業の目的・目標 血球の分化、生成、機能、質的、量的など血液学の基礎を活用し、更に詳細な知識を取り込みながら、CBCの各種実習を行う。					
◆授業の概要・授業方針 各項目について、基礎的な用手法による検査で、試薬の特性や原理等を中心に実習する。臨床検査技師としての最低限の技術を身に付けさせる。					
◆テキスト・参考資料等 教科書(医歯薬出版社)血液検査学を中心に、試薬の添付書なども取り入れ、実習を行う。			◆成績評価の方法 出欠状況、授業に対する真摯さを観ながら、質問等に対する回答能力なども評価するが、最終的には試験での評価とする。		
授業計画					チェック欄
第1回	血液学の歴史、レポートの書き方。				
第2回	採血、採血の副作用、CBCの試薬作成など				
第3回	CBCについて(赤血球・白血球)				
第4回	実習(赤血球・白血球)				
第5回	CBCについて(ヘマトクリット・ヘモグロビン)				
第6回	実習(ヘモグロビン検量線作成・ヘマトクリット)				
第7回	CBCについて(血小板)				
第8回	実習(血小板=直接法・間接法)				
第9回	CBCについて(網状赤血球)、自動機器によるCBC				
第10回	実習(網状赤血球)				
第11回	溶血検査について(赤血球抵抗試験・砂糖水試験・Ham試験)				
第12回	実習(赤血球浸透圧抵抗試験)				
第13回	赤血球沈降速度について				
第14回	実習(赤血球沈降速度・ウェスタグレン法)				
第15回	薄層塗抹標本作成と濃塗抹標本作成。普通染色(バツペンハイム染色、固定・染色液の特性)				
第16回	実習(薄層塗抹標本作成・普通染色)				
第17回	末梢血薄層塗抹標本の鏡検・観察				
第18回	実習(薄層塗抹染色標本鏡検)				
第19回	細胞化学(ペルオキシダーゼ染色・スダンブラックB染色)				
第20回	実習(染色・鏡検)				
第21回	細胞化学(アルカリホスファターゼ染色)				
第22回	実習(染色・鏡検)				
第23回	細胞化学(特異的エステラーゼ・非特異的エステラーゼ染色)+弗化ソーダ阻害試験				
第24回	実習(染色・鏡検)				
第25回	細胞化学(PAS染色)				
第26回	実習(染色・鏡検)				
第27回	細胞化学(PAS染色)				
第28回	実習(染色・鏡検)				
第29回	白血病分類(FAB分類)と細胞化学				
第30回	白血病分類(FAB分類)と細胞性免疫				